



IT/MT/FT × OPEN INNOVATION

株式会社デジタルガレージ

2017年3月期 決算説明会

2017.5.12

 **Digital Garage**

目次

ミッション&ビジネスモデル	3
インベストメント・ハイライト	7
業績レビュー	9
事業セグメント別レビュー	15
新中期3カ年計画ダイジェスト	26
Appendix	31

ミッション & ビジネスモデル





**Real & Cyber
Local & International
Marketing & Technology
Present & Future**

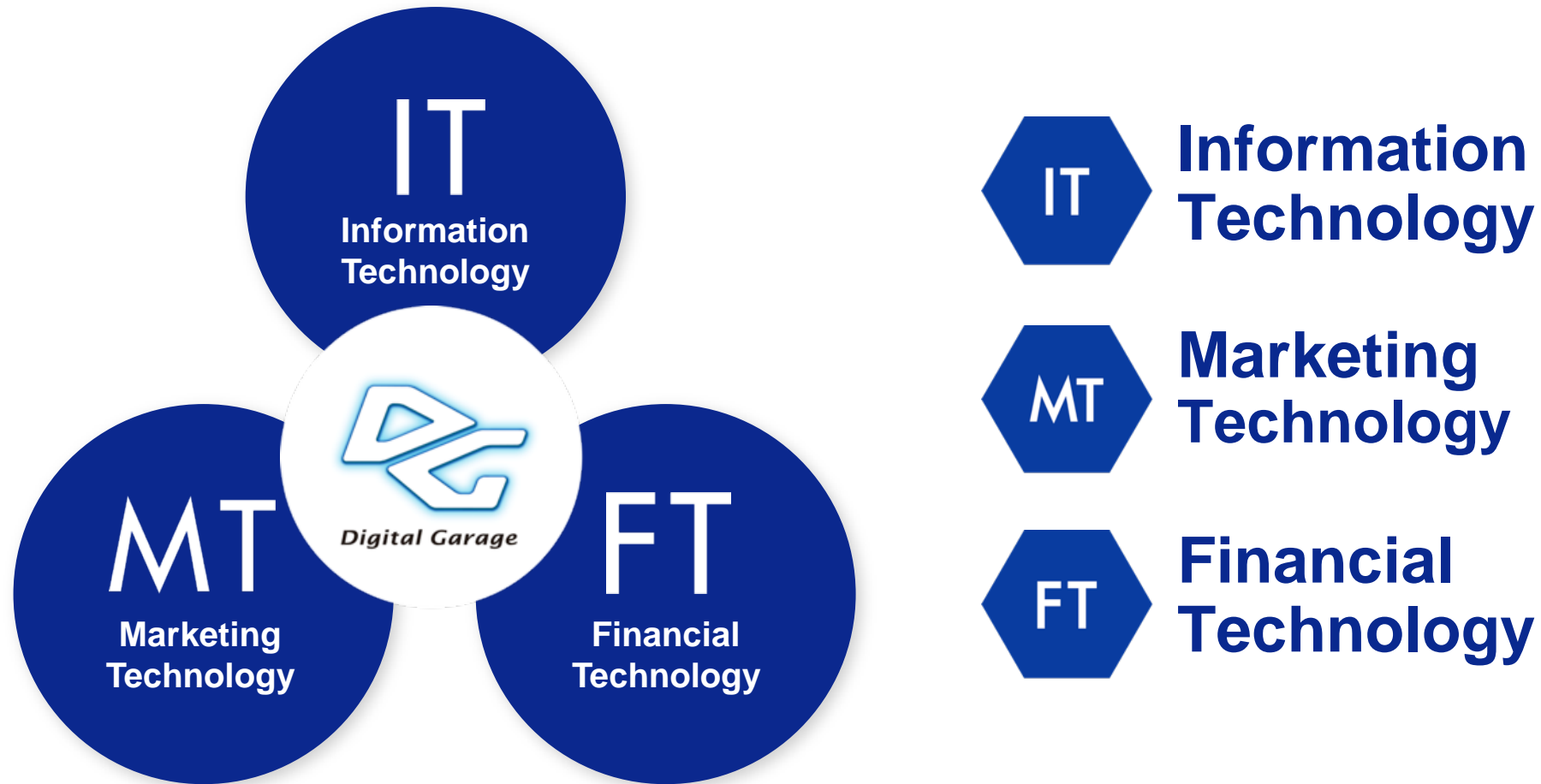
を結ぶ

Context Company

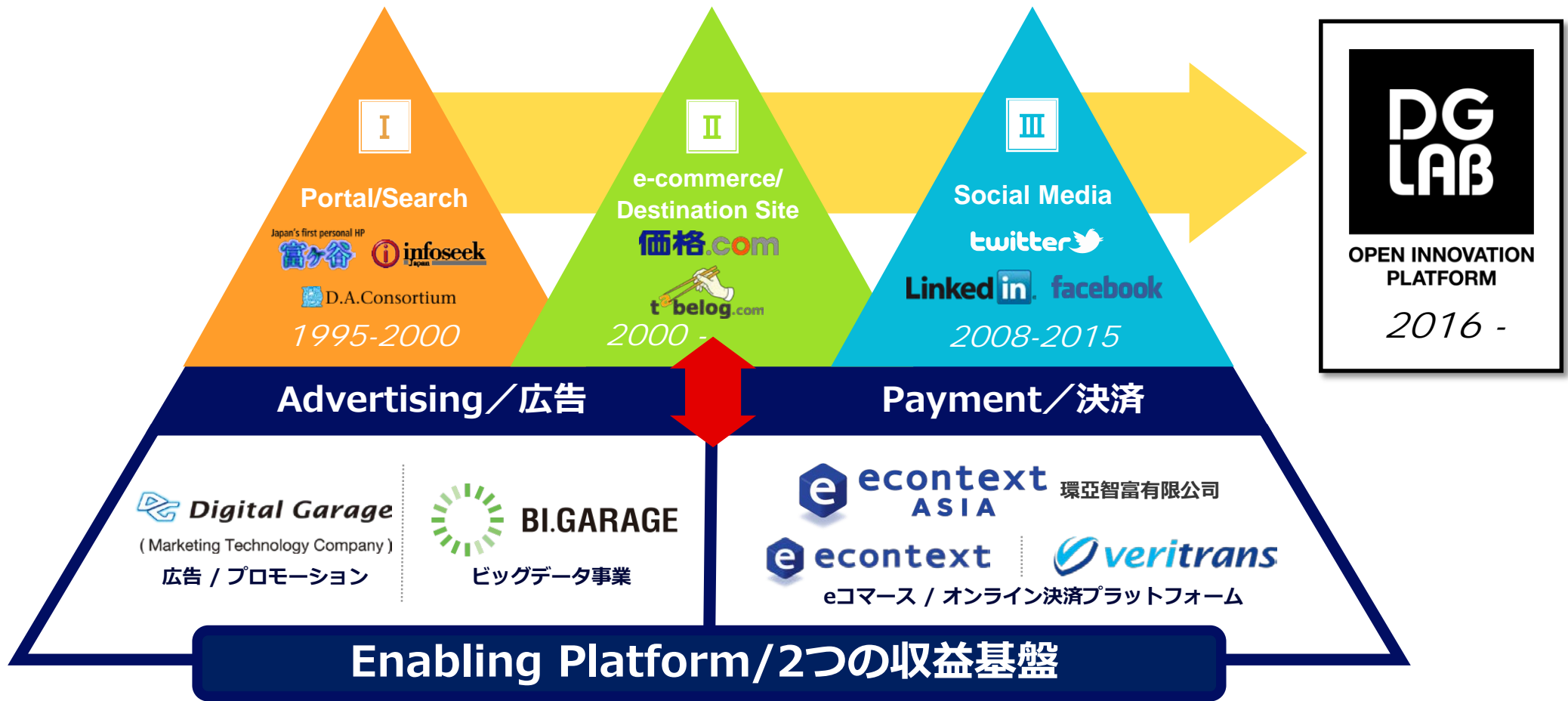
として

インターネット時代における
新しい生活・社会・産業への
ビジネスソリューション提供

インターネットビジネスを IT/MT/FT の
3つのコア機能を駆使し、プロデュース/インキュベート



独自のEnabling Platformを活用し、黎明期よりDGは
日本を代表するインキュベーション事業を創造



インベストメント・ハイライト



2017.3期の税引前利益は、前年同期比*23%増の58億円

～ ITの戦略転換により予想未達、中期経営計画をローリング再構築 ～

I MT/FT(広告/決済)は2桁増収増益、収益基盤が拡大

- MTはパフォーマンスアドが金融業界をはじめ、その他全領域に浸透。売上高は前年同期比38%増の204億円、税引前利益は同13%増の10億円と2桁増収増益
- FTは取扱高が前年同期比16%増の約1兆円と市場平均を大幅に上回る成長。非EC領域（飲食、不動産等）への展開が進展、公金決済を準備開始。ANAグループとの合併で「ANA Digital Gate」を設立

II IT(投資育成)は予算未達も、DG Labを核とした立体的なプロジェクトを設計

- 中長期保有 / グループ化を企図したロングタームインキュベーションへシフト。売却ポートフォリオの見直しと新中計構築に伴い、保守的に減損実施
- 次世代技術を有するスタートアップ企業を対象とした「DG Lab Fund」を組成。「DG Lab」と連携し、国内外での戦略エリアの投資実行を開始

III 2020に向けた技術革新に照準を合わせ、今年を初年度とする新中期経営計画を策定

- 3カ年数値目標として、新たに成長性指標と投資ハードルレートを設定。株主還元と資本効率指標は維持
- ブロックチェーン、AI、VR/AR、セキュリティ、バイオテクノロジーを重点領域とした戦略的投資とアライアンスを推進。新スローガン「Open Incubation toward 2020」でDGグループの成長を加速

注) * 決算期変更に伴う変則決算により、前年比較は以下の通り、2016.6期 3Q累計と2017.3期 3Q累計の単純比較としております
 決算期変更前から3月決算の会社 : 2016.6期 3Q累計 (4-12月) と 2017.3期 3Q累計 (4-3月)の比較
 3月決算に変更した会社 : 2016.6期 3Q累計 (7- 3月) と 2017.3期 3Q累計 (7-3月)の比較

業績レビュー



売上高前年同期比*16%増、経常利益同20%減

～ 税引前利益は同23%増も、期初予想比18%未達 ～

単位：百万円	2016.6期	A	B		C (=B/A-1)		予想比	
	(通期実績)	2016.6期 3Q(累計実績)	2017.3期 (9ヶ月) (期初予想)	(通期実績)	前年同期比 (比率%)	(金額)	(比率%)	(金額)
売上高	43,763	31,474	37,500	36,451	+15.8	+4,976	-2.8	-1,048
営業利益	4,201	3,104		723	-76.7	-2,380		
営業外収益	3,031	2,156		3,257	+51.1	+1,100		
持分法投資利益	2,406	1,687		2,539	+50.5	+851		
為替差益	-	-		171	-	+171		
営業外費用	1,040	678		292	-56.9	-386		
為替差損	689	400		-	-	-400		
経常利益	6,193	4,582		3,688	-19.5	-893		
特別利益	1,392	164		2,265	13.8 倍	+2,101		
投資有価証券売却益	-	-		1,829	-	+1,829		
特別損失	10	10		124	11.9 倍	+113		
減損損失	-	-		104	-	+104		
税金等調整前当期純利益	7,574	4,735	7,100	5,829	+23.1	+1,093	-17.9	-1,270
法人税等	2,385	1,412		1,525	+8.0	+112		
親会社株主に帰属する当期純利益	5,165	3,307	5,300	4,299	+30.0	+991	-18.9	-1,000

* 決算期変更に伴う変則決算により、前年比較は以下の通り、2016.6期 3Q累計と2017.3期 3Q累計の単純比較としております
 決算期変更前から3月決算の会社 : 2016.6期 3Q累計 (4-12月) と 2017.3期 3Q累計 (4-3月)の比較
 3月決算に変更した会社 : 2016.6期 3Q累計 (7- 3月) と 2017.3期 3Q累計 (7-3月)の比較

MT/FTともに2桁増収増益確保、引続き好調を維持

ITは売却ポートフォリオの見直し及び保有株式の保守的減損の影響で予想未達

単位：百万円	A		B		C (=B/A-1)		予想比	
	2016.6期 (通期実績)	2016.6期 3Q(累計実績)	2017.3期 (9ヶ月) (期初予想)	2017.3期 (9ヶ月) (通期実績)	前年同期比 (比率%)	前年同期比 (金額)	(比率%)	(金額)
売上高	43,763	31,474	37,500	36,451	+15.8	+4,976	-2.8	-1,048
IT インキュベーションテクノロジー	6,343	4,421	6,500	1,817	-58.9	-2,604	-72.0	-4,682
MT マーケティングテクノロジー	21,028	14,880	17,500	20,494	+37.7	+5,613	+17.1	+2,994
FT フィナンシャルテクノロジー	16,392	12,172	13,500	14,140	+16.2	+1,967	+4.7	+640
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	7,574	4,735	7,100	5,829	+23.1	+1,093	-17.9	-1,270
IT インキュベーションテクノロジー	3,105	1,728	2,500	588	-66.0	-1,139	-76.5	-1,911
MT マーケティングテクノロジー	1,396	947	1,100	1,074	+13.5	+127	-2.3	-25
FT フィナンシャルテクノロジー	1,758	1,307	1,500	1,478	+13.1	+171	-1.4	-21
MI メディアインキュベーション	3,052	1,878	2,900	3,087	+64.4	+1,209	+6.5	+187

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

単位：百万円	2017.3期（9ヶ月）		予想比 （金額）
	（期初予想）	（通期実績）	
税金等調整前当期純利益	7,100	5,829	-1,270
IT	2,500	588	-1,911
MT	1,100	1,074	-25
FT	1,500	1,478	-21
MI	2,900	3,087	+187
全社 / 消去	▲ 900	▲ 399	+500

- 中長期的視野におけるインキュベーション戦略 / 売却ポートフォリオの見直し：▲ 12 億
 - 新中計構築に伴う保守的減損：▲ 7 億
- 短期売却に加え、中長期的な事業利益獲得へ
→ 詳細 「新中期3カ年計画ダイジェスト」参照

- 持分法投資利益は予算未達
- 関係会社株式売却益：3.8 億

- インターネットインフィニティ社上場に伴うインキュベーション成果
投資有価証券売却益：4.6 億
- 為替差益：1.6 億

(単位：百万円)	2016.6期末	2017.3期末	前期末比（金額）	主たる変動要因/備考
流動資産	48,324	59,624	+11,300	
現預金	15,703	23,029	+7,326	新規借入金の増加、株式売却収入等
未収入金	13,946	15,422	+1,476	FT事業の拡大
金銭の信託	2,592	2,264	-328	
営業投資有価証券	11,164	11,856	+692	新規投資、時価評価等
固定資産	29,011	32,070	+3,058	
投資有価証券	14,844	18,366	+3,521	新規投資、持分法投資利益取込
のれん	5,765	5,411	-353	
資産合計	77,335	91,695	+14,359	
流動負債	30,187	38,815	+8,628	
預り金	21,876	25,127	+3,251	FT事業の拡大
短期借入金	3,200	6,937	+3,737	長期借入金からの振替、運転資金需要
固定負債	16,484	18,499	+2,015	
長期借入金	15,370	17,207	+1,836	運転資金需要に対応する借入増
負債合計	46,671	57,315	+10,643	
純資産	30,664	34,379	+3,715	
株主資本	28,610	31,642	+3,032	
資本金	7,435	7,437	+2	
資本剰余金	2,825	2,946	+121	
利益剰余金	18,419	21,309	+2,889	当期純利益の取り込み
その他の包括利益累計額	1,502	1,956	+454	
有価証券評価差額金	138	641	+502	
負債・純資産合計	77,335	91,695	+14,359	

売上高585億円、税引前利益80億円、当期純利益55億円を計画
 ～ 当期純利益は9期ぶりの過去最高益更新及び前年比20%増配を計画 ～

単位：百万円	2016.6期 (通期実績)	2017.3期 (9ヶ月) (通期実績)	2018.3期 (通期予想)
売上高	43,763	36,451	58,500
IT インキュベーションテクノロジー	6,343	1,817	6,000
MT マーケティングテクノロジー	21,028	20,494	32,000
FT フィナンシャルテクノロジー	16,392	14,140	20,500
LTI ロングタームインキュベーション	-	-	-
税金等調整前当期純利益	7,574	5,829	8,000
IT インキュベーションテクノロジー	3,105	588	3,800
MT マーケティングテクノロジー	1,396	1,074	1,750
FT フィナンシャルテクノロジー	1,758	1,478	2,300
LTI ロングタームインキュベーション	3,052	3,087	2,500
親会社株主に帰属する当期純利益	5,165	4,299	5,500
1株当たり配当金	30円 (普通配当 15円) (記念配当 15円)	20円 (普通配当 20円)	24円 (普通配当 24円)

2018.3期より、MIセグメントをLTIセグメントへ変更
 詳細は「新中期3カ年計画ダイジェスト」参照

※ セグメント変更に伴い、LTIの2016.6期及び2017.3期実績は旧セグメント (MI) を指します



事業セグメント別レビュー



I インキュベーションテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 実績 (3Q累計)	4,421 百万円	1,728 百万円
2017年3月期 実績 (3Q累計)	1,817 百万円	588 百万円
2018年3月期 計画	6,000 百万円	3,800 百万円

▶ 株式会社DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業



▶ 株式会社 Open Network Lab

シードアクセラレータープログラムの第15期を実施中



▶ Digital Garage US, Inc.

米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



▶ 株式会社DK Gate (出資比率66%)

講談社と次世代コンテンツに関わる領域をグローバルに投資育成



▶ 株式会社DG Technologies (出資比率80%)

DG Labと連携し、戦略的な技術開発を推進



▶ 株式会社DG Daiwa Ventures (出資比率50%/持分法適用会社)

次世代技術を有するスタートアップ企業を対象としたファンド「DG Lab Fund」を運営



▶ Kodansha Advanced Media LLC (出資比率19%/出資先)

米国・英語圏のデジタル配信におけるマーケティング、配信・映画化とイベント等の企画実行など

	16.6期	
	社数	投資残高
株式	110	104 億円
国内	32	18 億円
海外	78	85 億円
ファンド	6	7 億円
計	116	111 億円



	17.3期	
	社数	投資残高
株式	130	113 億円
国内	42	19 億円
海外	88	93 億円
ファンド	6	7 億円
計	136	120 億円

注)
 DGインキュベーションの投資残高
 上場銘柄は期末時価による評価額
 株式は転換権付融資含む
 残高合計は単位未満切捨てのため一
 致しない場合があります

主要なポートフォリオ

Blockstream [米・加]

ビットコインのコア開発者を
 中心に設立。ブロックチェー
 ンの多目的な応用を容易にす
 るプラットフォーム技術「サイ
 ドチェーン」を開発



Droom [インド]

インド最大の自動車売買オンライン
 マーケットプレイス「Droom」を運営



Wevr [米国]

バーチャルリアリティーの制作者や利用者
 向けの革新的なオープンネットワークである、
 「Wevr Transport™」を
 開発・運営



Estimate [米国]

センサーの製造/販売と屋
 内位置情報テクノロジーソ
 フトウェアにより、ビーコ
 ン・ソリューションを提供



ウェルビー [日本]

慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けの
 アプリを提供



グッドパッチ [日本]

スマートフォン及びPC向けのホームページの
 受託開発やコンサルティングを手掛ける



モンスター・ラボ [日本]

世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を
 依頼できるグローバルソーシングプラット
 フォーム「セカイラボ」を運営



パネル [日本]

クラウドコンピューティングと人工知能を
 活用して完全自動化した電力小売プラット
 フォーム「Odin」（オーディン）を提供



II マーケティングテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 実績 (3Q累計)	14,880 百万円	947 百万円
2017年3月期 実績 (3Q累計)	20,494 百万円	1,074 百万円
2018年3月期 計画	32,000 百万円	1,750 百万円

▶ マーケティングテクノロジーカンパニー

パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



▶ ビジネスデザインカンパニー

コンサル型マーケティングを提供



▶ 株式会社 BI.Garage

データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供



▶ ナビプラス株式会社

ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



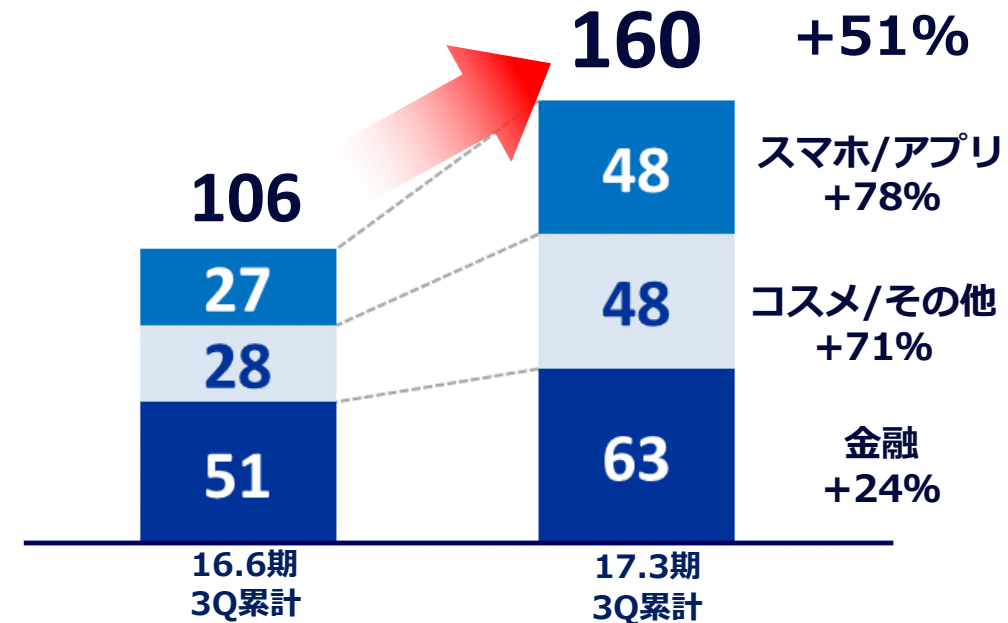
売上高は前年同期比38%の成長、営業利益同25%増
パフォーマンスアドは主力の金融業界をはじめ全分野で浸透し2桁の伸張

(単位：億円)

		16.6期 3Q累計	17.3期 3Q累計	前年 同期比
売上高		148.8	204.9	+38%
売上総利益	(A)	27.8	33.9	+22%
営業利益	(B)	9.5	11.9	+25%
オペレーティング ・マージン ※	(B) / (A)	34.2%	35.1%	+0.9ポイント

※オペレーティング・マージン：営業利益÷売上総利益×100

【パフォーマンスアド売上】 (単位：億円)



Ⅲ フィナンシャルテクノロジーセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 実績 (3Q累計)	12,172 百万円	1,307 百万円
2017年3月期 実績 (3Q累計)	14,140 百万円	1,478 百万円
2018年3月期 計画	20,500 百万円	2,300 百万円

▶ **econtext ASIA Ltd.**

決済事業香港法人



▶ **株式会社イーコンテクト**

国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**

国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **ANA Digital Gate株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)

FinTechを活用した新たな決済ソリューションを開発・提供



▶ **PT MIDTRANS** (Veritrans Indonesia 出資比率21.81%/非連結)

インドネシアの合併決済プロバイダー



▶ **Sendo Technology JSC** (出資比率 12.89%/出資先)

ベトナムのC2C、B2C向けオンラインマーケットプレイス



決済取扱高は前年同期比16%成長の約1兆円まで拡大 営業利益は前年同期比12%の増益

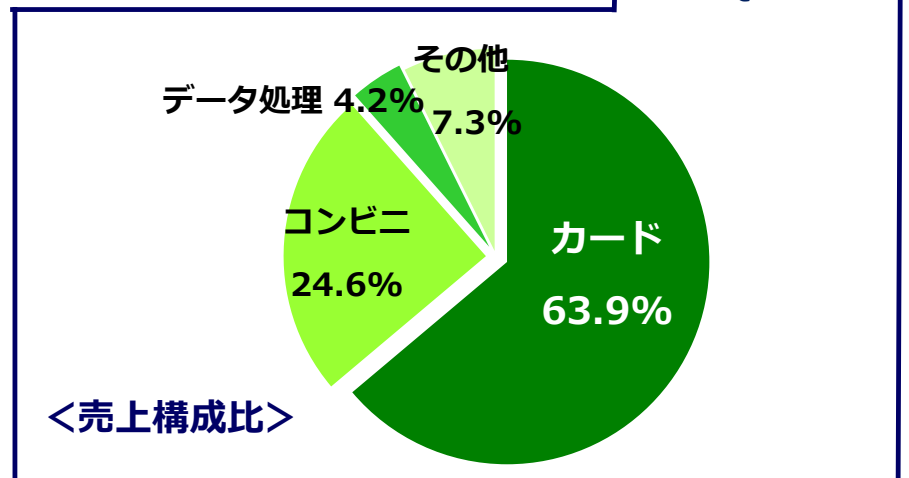
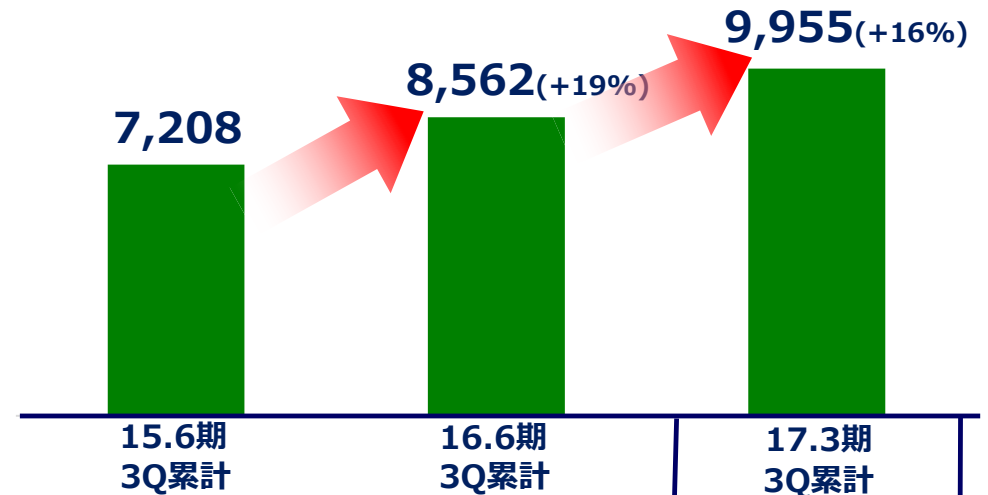
【決済事業のトラックレコード】

(単位：億円)	15.6期 3Q累計	16.6期 3Q累計	17.3期 3Q累計	前年 同期比
決済取扱高	7,208	8,562	9,955	+16%
売上高	107.5	121.7	141.4	+16%
営業利益	9.8	13.2	14.8	+12%
償却費 ※	6.2	6.3	6.7	
償却前営業利益	16.0	19.5	21.5	+10%
対売上高	14.9%	16.0%	15.2%	

※償却費 = 減価償却費 + のれん償却費

【決済取扱高推移及び売上構成】

(単位：億円)



IV メディアインキュベーションセグメント

	売上高	税引前利益
2016年6月期 実績 (3Q累計)	-	1,878 百万円
2017年3月期 実績 (3Q累計)	-	3,087 百万円
2018年3月期 計画	-	2,500 百万円

- ▶ **株式会社カカクコム** (出資比率20%/持分法適用会社)
価格比較サイト「価格.com」やグルメサイト「食べログ」の運営等

kakaku.com

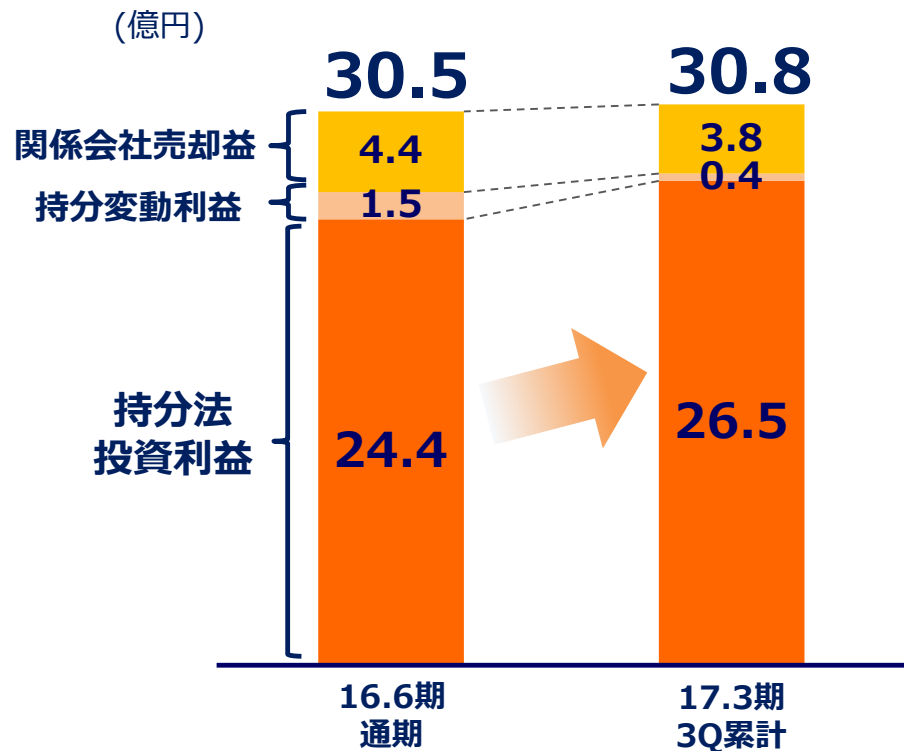
- ▶ **株式会社DK Media** (出資比率50%/持分法適用会社)
講談社ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業

DK★MEDIA

※ セグメント変更に伴い、2018.3期はLTIセグメントの計画となります

カクコムは堅調に推移も、特別利益の減少により税引前利益微増

【税引前利益推移】



※17.3期3Q累計において、3月決算会社であるカクコムの業績は12カ月分を取り込んでおります。MIセグメントの大部分を占めていることから16.6期通期との比較を行っております。

カクコムとの連携 及びメディア開発の推進

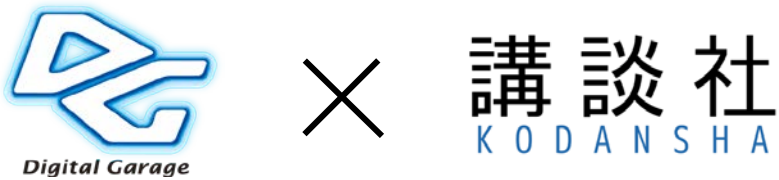
- 大手企業とのアライアンス
- 中長期的な投資育成
- DG Lab/Lab Fund連携

2018.3期よりLTIセグメントへ変更 (新中期3カ年計画ダイジェスト参照)

女性誌のコンテンツとAI技術を組み合わせたデジタルメディアを講談社と共同開発
 ~ 出版社が保有する良質なコンテンツストックから作り出すポストキュレーションメディア ~

< 講談社との合弁会社 DK Media >

< コンピレーションメディアの全体像 >



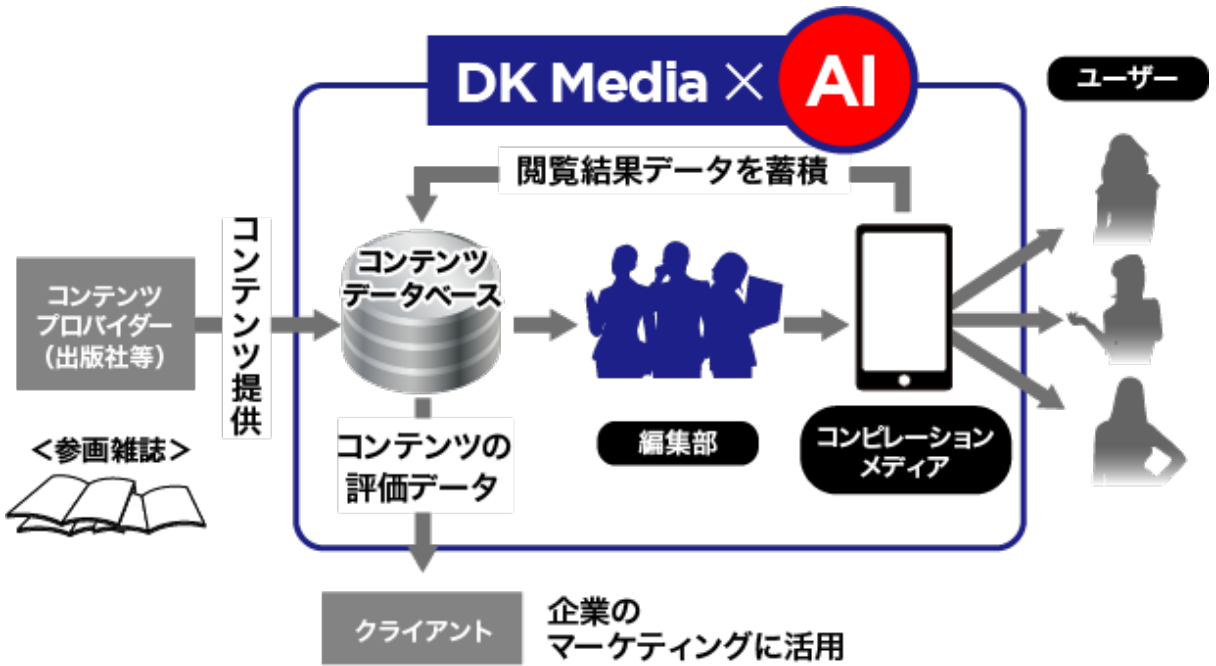
株式会社DK Media

講談社ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業

2015年の資本業務提携以降、日本発コンテンツのグローバル展開及び次世代コンテンツ領域への投資を共同で推進

今回、提携第3弾として、ファッション女性誌を活用したインターネットメディア事業の合弁会社、株式会社DK Mediaを設立

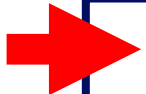
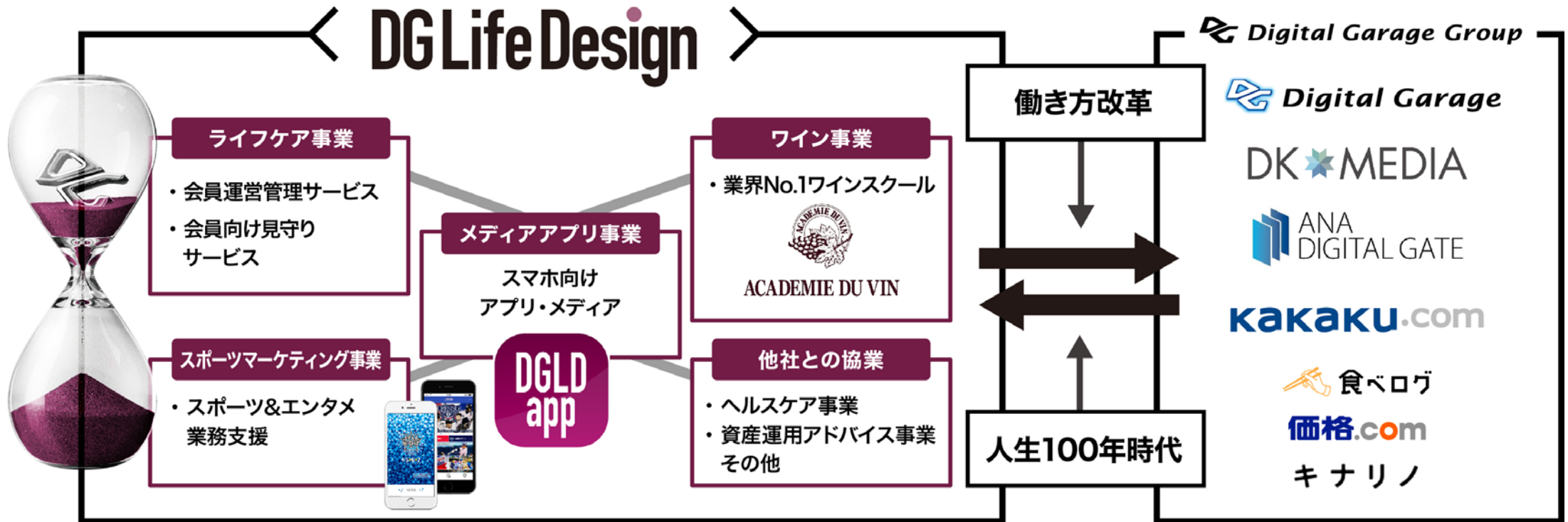
Vivi with VoCE FRAU おとなスタイル



今後、有力出版社の参画を予定。コンソーシアム化へ (6月に詳細を発表予定)

DGグループ初となる富裕層向けライフスタイル事業を開始

ロングタームインキュベーション 長期保有型投資の第一弾事業



事業概要はリリース参照 (戦略パートナーとの協業については6月中に発表予定)

新中期3カ年計画ダイジェスト



10年間のDGグループ トラックレコード (2007~2017)

	2007	2017	成長ドライバー
MT 広告取扱高	9 (億円) →	230 (億円) 25 倍	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンส์アドとスマホ向け広告が成長を牽引
FT 決済取扱高	875 (億円) →	13,275 (億円) 15 倍	<ul style="list-style-type: none"> 2つの決済エンジン (イーコンテクト・ベリトランス)
IT 投資残高	37 (億円) →	120 (億円) 3.2 倍	<ul style="list-style-type: none"> Wウィングでの投資ネットワーク (国内とシリコンバレー・アレー)

MT / FTは17.3期年換算 (MT : Web広告)、IT : DGI 投資残高

2020に向けて技術革新がもたらす破壊と創造

- 半導体の高性能化 (ムーアの法則)
- 移動体通信網の超高速化 (5Gネットワーク)
- デバイス (スマホ) を入口とした UI変革 (決済・動画・AR・第2世代アプリ 他)
- 遺伝子解析・合成の コモディティ化 (爆発的なバイオテック時代の幕開け)

この結果起こるユーザーライフスタイルや産業構造の大変革


現行の中期経営計画をグループ視点で再考、ローリングする

Open Incubation toward 2020

～ 創立25周年を迎える2020年に向け、インキュベーションの第4ステージへ～

スタートアップから大企業まで、先進的な取り組みを行う様々な企業と連携しながら
技術革新がもたらす新ビジネスをコンテクストで結び、新しい日本をインキュベートする

< Open Incubationを実現する6つのアクション >

- I** ✓ 第4次産業革命を牽引するための
オープンプラットフォーム型
研究開発プロジェクト(DG Lab)

- II** ✓ 長期保有型投資戦略による有力投資先の
グループを挙げた育成 (LTI)
- III** ✓ ブロックチェーンを活用した
金融改革を牽引するプロジェクトの設計

- IV** ✓ 国内外のスタートアップや
大手企業/研究機関との協業やJVの設立
- V** ✓ 人工知能やVR/AR、IoTを活用した
未来都市/地方創生プロジェクトの設計
- VI** ✓ コンピュータサイエンスを活用した
日本型バイオテックエコシステムの確立

事業環境変化を受け、各セグメントを以下のように最適化



➡ **✓ 成長性 指標** (税引前利益 年平均成長率)

	2017.3期 (年換算)	年平均成長率 (17.3 - 20.3)	
MT (億円)	14	15 %	▲ AI技術の急速な浸透に合わせ、データマーケティングシフトを加速
FT (億円)	19	15 %	▲ ブロックチェーンやAIを活用したハイブリッド型FinTech事業

➡ **✓ 投資ハードルレート** (ROI/Return on Investment)

IT LTI	2.5 倍	▲	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たなクライテリアを設定し、中長期保有(LTI)と短期Exit銘柄をより戦略的に色分け ■ 投資先の中長期保有/グループ化、新規事業育成によるロングタームインキュベーション
----------------------	--------------	---	---

➡ **✓ 資本収益性 指標**

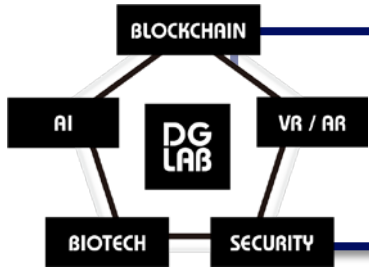
ROE	20 %
------------	-------------

➡ **✓ 株主還元 指標**

配当性向	20 %
-------------	-------------

Appendix





DG Labへの協賛/参画企業や同ファンドへの出資も順調に増加。次世代を見据えるオープンイノベーションプラットフォームで、新たな事業を生み出す研究開発プロジェクトを推進

BLOCK CHAIN

ブロックチェーン技術を活用した研究開発プロジェクトを推進

Blockstream社が2017年4月にリリースした最新のブロックチェーンプラットフォーム上で動作するデモプログラムを開発しオープンソースとして公開。Blockstream社の技術を活用し、カカクコム、クレディセゾンと地域マネーなどブロックチェーン技術に基づくプロダクトを共同開発



VR/AR

高品質VRコンテンツを手掛けるスタジオと連携

高品質のVRコンテンツの配信を手掛けるWevr社と連携し、高精細なVRを体験できる場を増やしながユーザー基盤を構築。日本のクリエイターとも連携へ



BIOTECH

バイオインキュベーションセンターの設立に向けた土台作り

バイオ系スタートアップ企業を育成するエコシステムの構築を目指し、米国のバイオインキュベーションセンターやスタートアップ育成企業との連携を進める

SECURITY

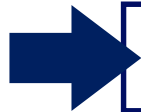
新しい概念のセキュリティ技術を目指す

スマートフォンやIoTの普及により爆発的に増大するデータの保護に向けた新しい概念のセキュリティ技術の開発を検討

AI

データサイエンス事業と連携したサービスを開発

カカクコムが有するWeb行動データ、電通グループが保有する広告関連データをもとに、パートナー企業が有する様々なデータと組み合わせて人工知能で分析した結果に基づくサービスやプロダクトを展開予定。人工知能関連のセミナーを定期的で開催しコミュニティーを醸成



DGLAB FUND

ファンドからの投資案件スタート (AI、BIO関連企業)



AI分野の有識者のインタビューや海外で開催されたVR 向け大規模イベントの取材等を実施



● アンドロイド研究で著名な石黒浩教授にインタビュー

マツコロイドや夏目漱石のアンドロイドなど精巧なアンドロイドの研究で有名な大阪大学の石黒浩教授にアンドロイドの制作過程や研究の目的などをテーマにインタビュー。

【石黒教授インタビュー】人間を理解するための究極の方法とは <http://media.dglab.com/2017/03/31-interview-ishiguro/>



● サンフランシスコで開催されたゲームデベロッパーズカンファレンスの様子を発信

2017年2月27日～3月3日の1週間、サンフランシスコでゲーム開発者向けの世界的カンファレンス、Game Developers Conference 2017 (GDC) が開催された。同会場では、Virtual Reality Developers Conference (VRDC) も同時開催。

①VR技術が切り拓く新しい開発プロセス、没入型デザインへの挑戦 <http://media.dglab.com/2017/04/11-event-gdc-01/>

②VR以降のコンテンツ制作 <http://media.dglab.com/2017/04/14-event-gdc-02/>

③VR/AR市場の変遷、コマースに与える影響 <http://media.dglab.com/2017/04/18-event-gdc-03/>



● 人工生命研究で著名な池上高志教授インタビュー

人工生命研究で著名な池上高志(東大)教授に「生命とはなにか」「人工的に生命現象を作る」というテーマで最新の研究成果を交えながら解説。

【池上教授インタビュー・前編】人工生命の定義と可能性 <http://media.dglab.com/2017/02/23-interview-ikegami-01/>

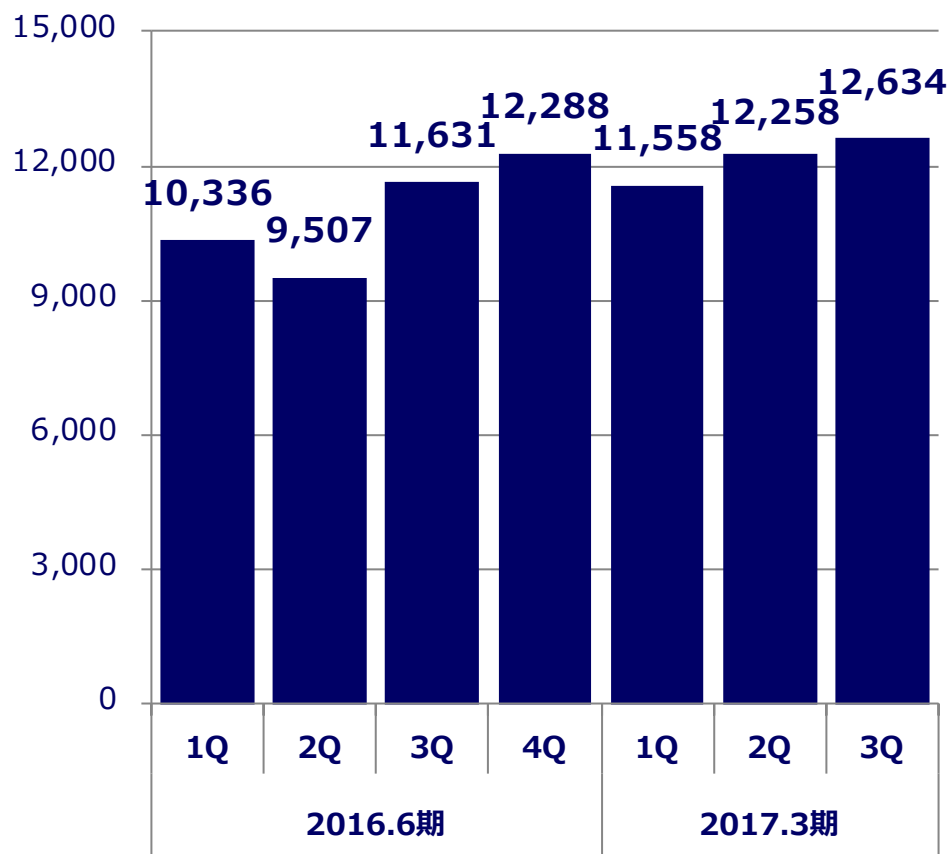


2017.3期(1-3Q)は、前年同期比16%増収、税引前利益同23%増の58億円

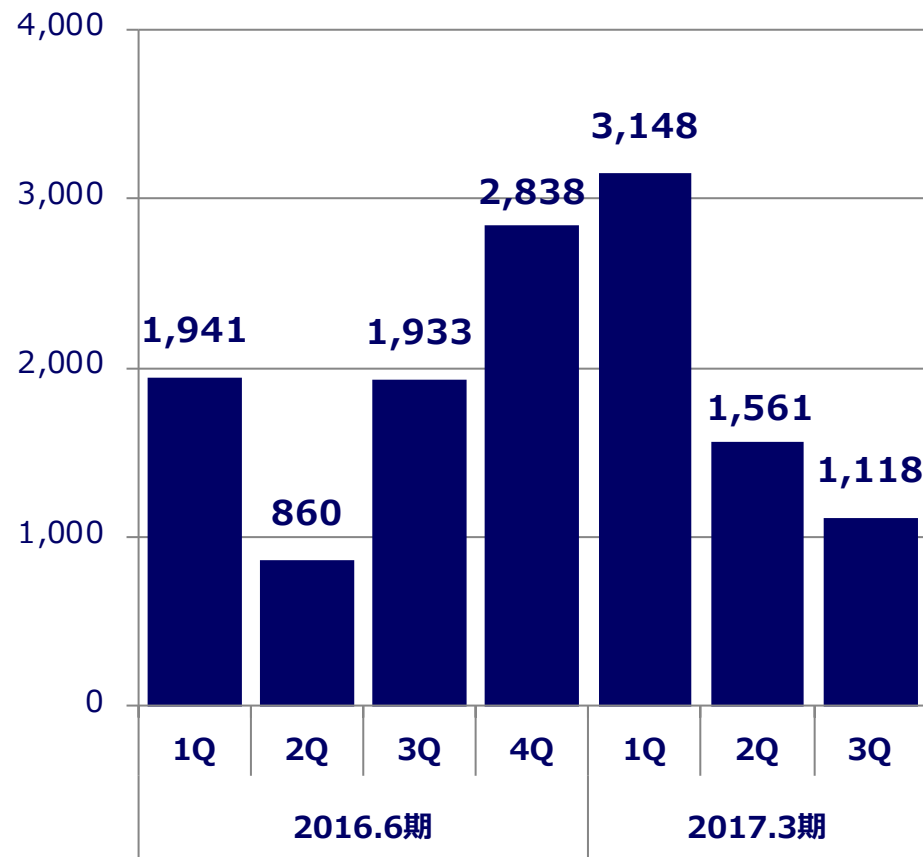
～ ITは予想未達も、MT/FTともに2桁増収増益を確保 ～

【売上高】

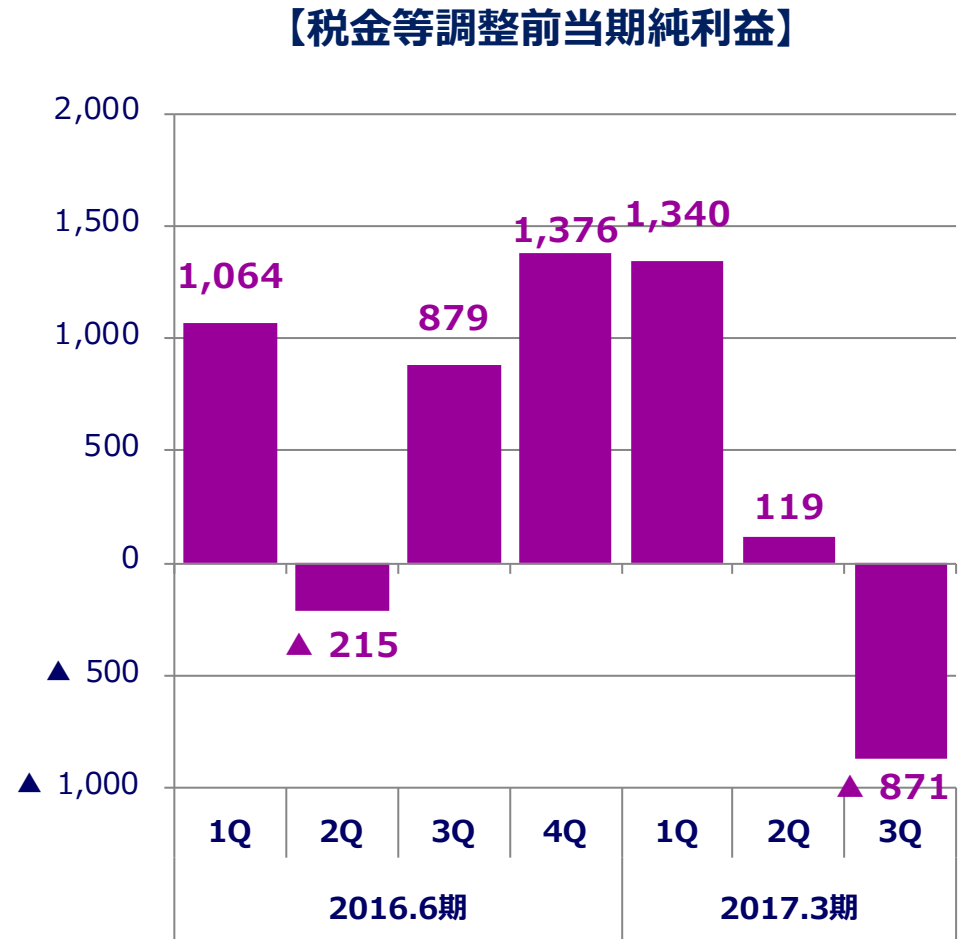
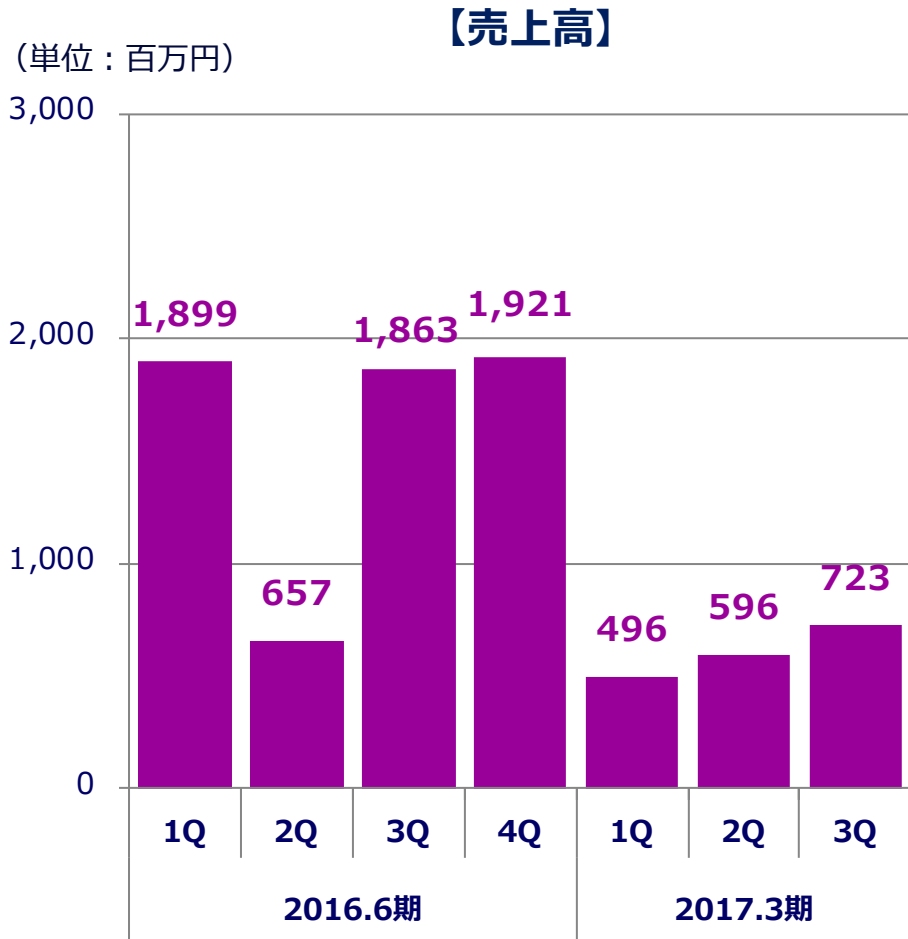
(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】



1Qに大型Exitを実現。売却ポートフォリオの見直し及び一部減損を実施
～ 国内外の投資ポートフォリオを拡充、投資残高は120億円まで拡大 ～

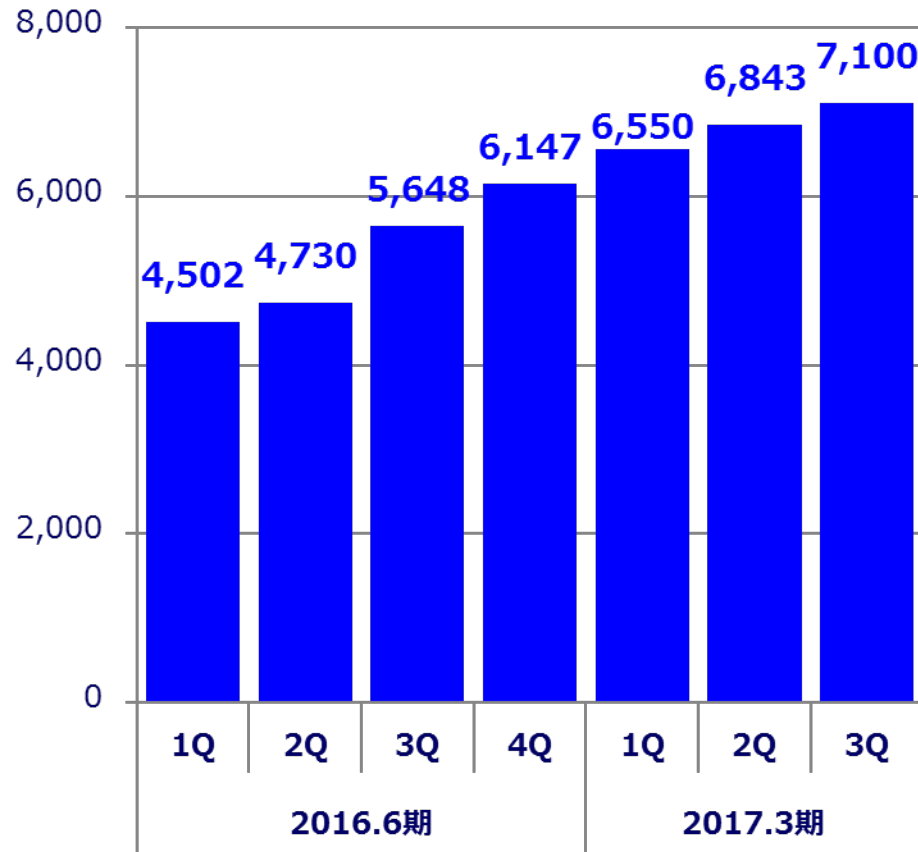


前年同期比38%の大幅増収を達成

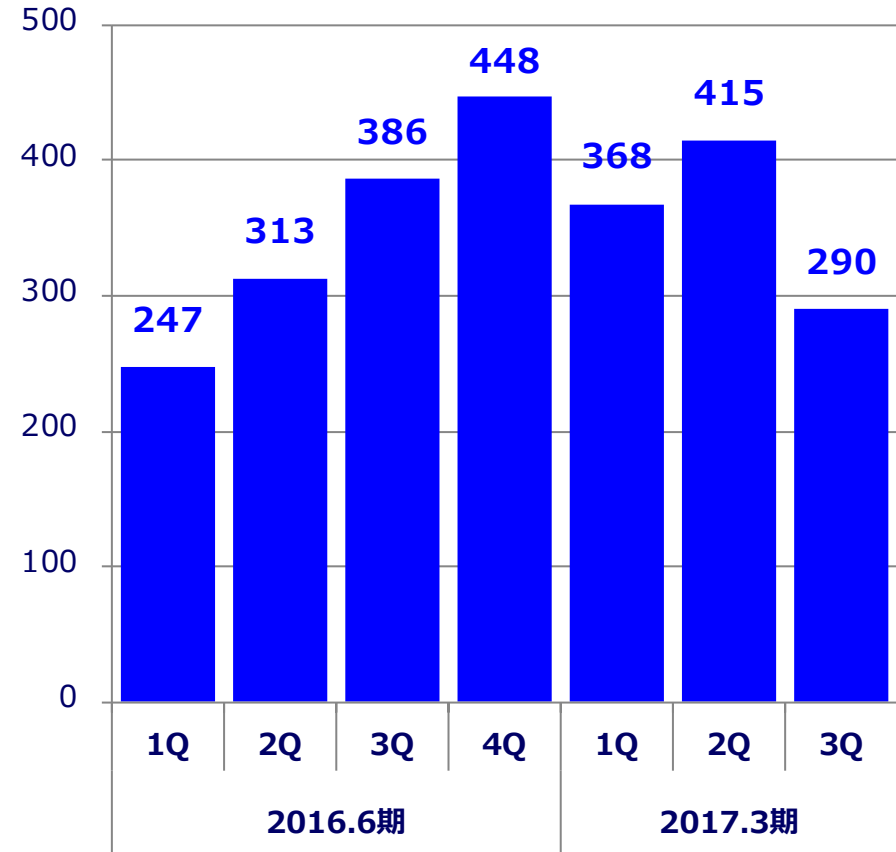
～ パフォーマンスアド領域が牽引、データサイエンス事業も好調に推移 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

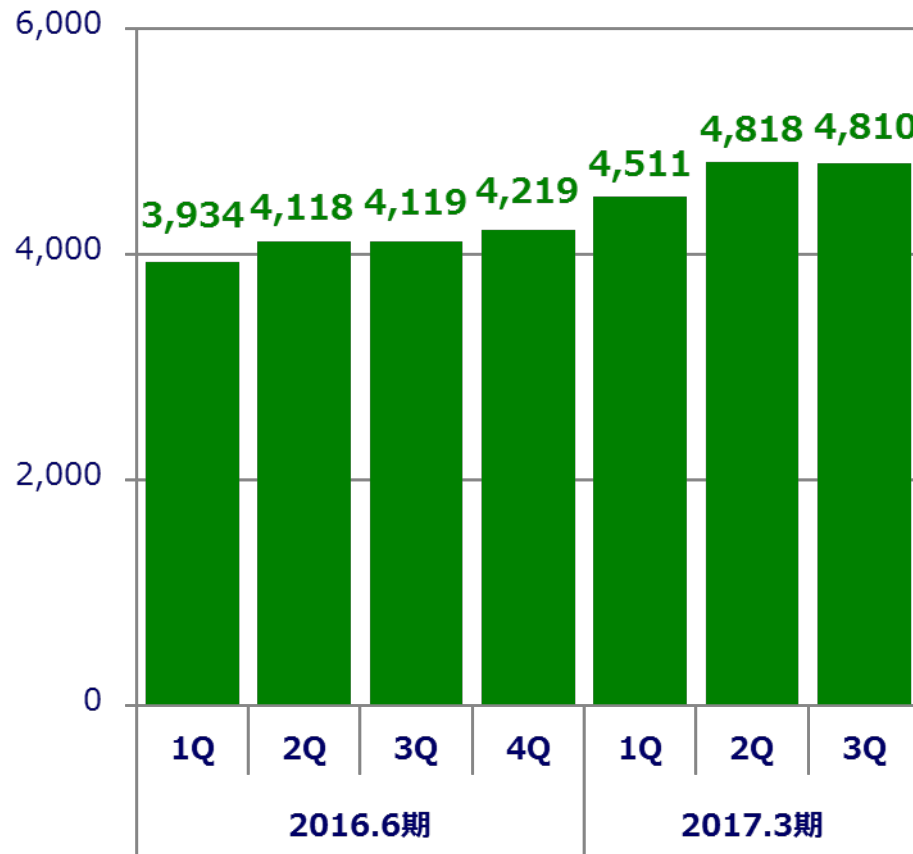


決済取扱高が大幅に拡大、売上高は前年同期比16%増

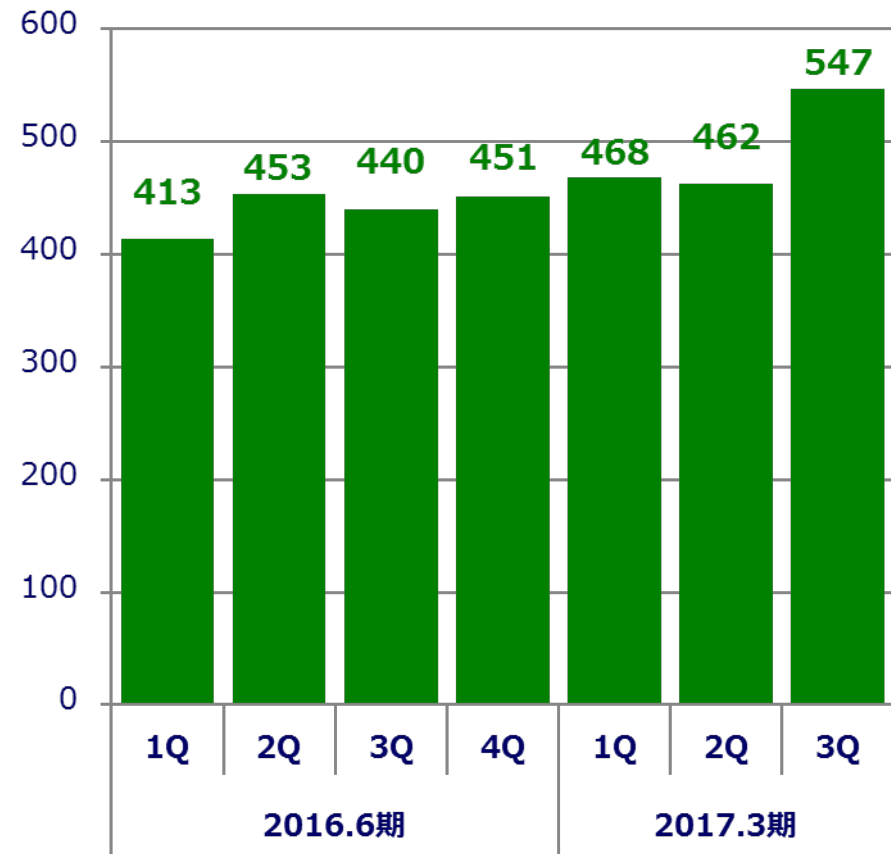
～ インバウンド決済の拡大に加え、イベントチケット関連等のCtoC領域の決済が好調 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

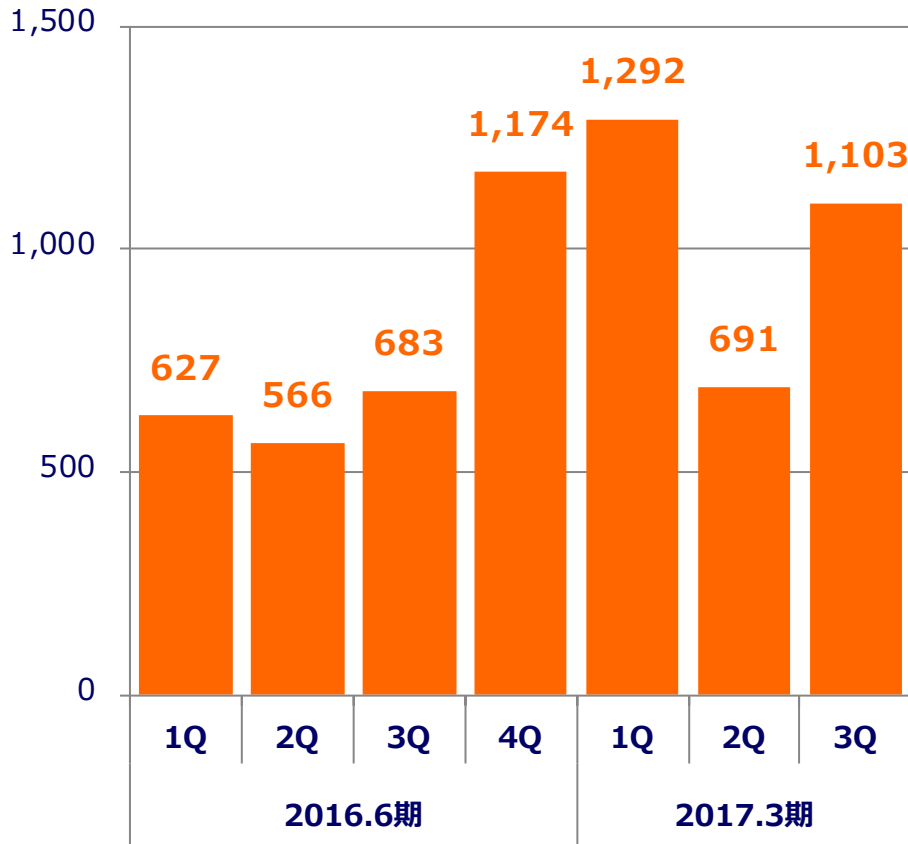


カカコム持分法投資利益は堅調に推移も、特別利益減少により税引前利益微増

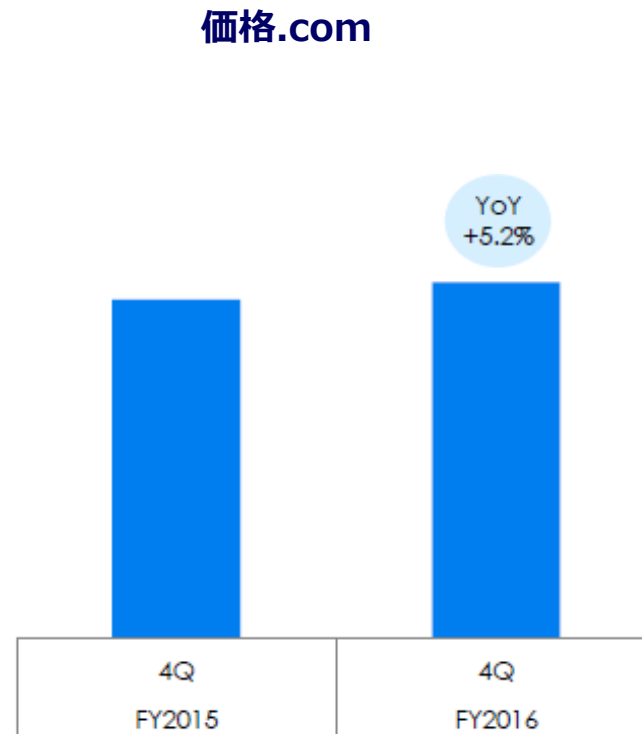
～ メディアを核に、インキュベーション事業を立ち上げ～

(単位：百万円)

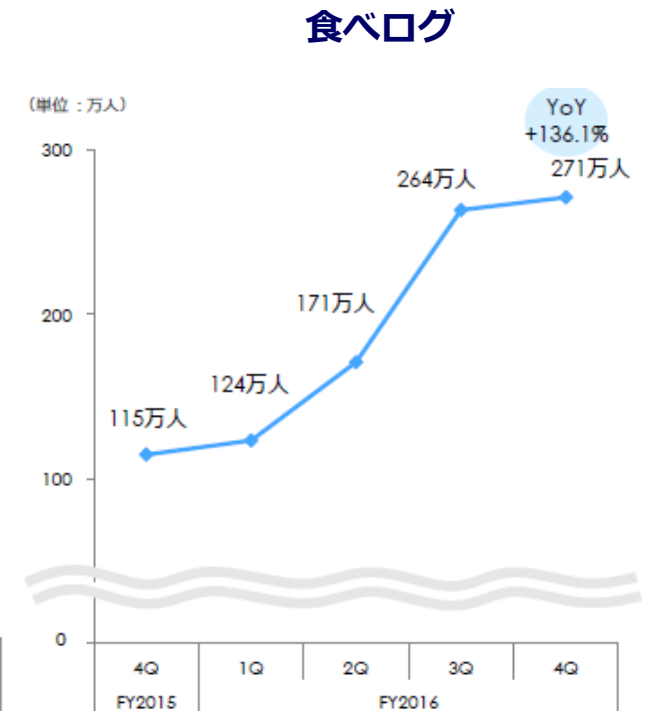
【税引前当期純利益】



【消費財 流通総額成長率】



【オンライン予約人数】



カカコム社 2017年3月期決算説明資料より



四半期業績推移（連結）



単位：百万円	2016.6期				2017.3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	10,336	9,507	11,631	12,288	11,558	12,258	12,634
営業利益	1,425	201	1,477	1,097	412	493	△ 182
経常利益	1,863	831	1,887	1,610	1,781	1,541	365
税金等調整前当期純利益	1,941	860	1,933	2,838	3,148	1,561	1,118
親会社株主に帰属する当期純利益	1,196	599	1,510	1,857	2,689	1,011	597

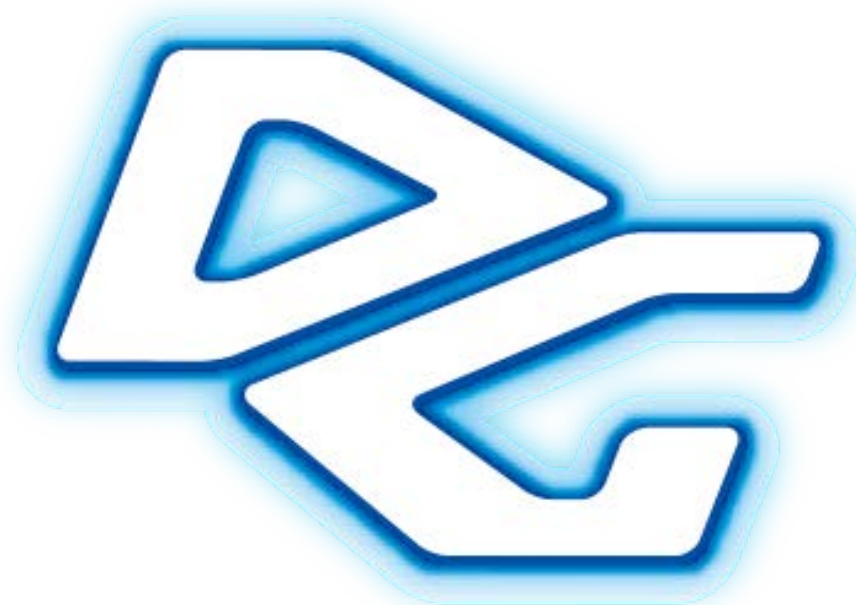
単位 : 百万円	2016.6期				2017.3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	10,336	9,507	11,631	12,288	11,558	12,258	12,634
IT インキュベーションテクノロジー	1,899	657	1,863	1,921	496	596	723
MT マーケティングテクノロジー	4,502	4,730	5,648	6,147	6,550	6,843	7,100
FT フィナンシャルテクノロジー	3,934	4,118	4,119	4,219	4,511	4,818	4,810
MI メディアインキュベーション	-	-	-	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	1,941	860	1,933	2,838	3,148	1,561	1,118
IT インキュベーションテクノロジー	1,064	△ 215	879	1,376	1,340	119	△ 871
MT マーケティングテクノロジー	247	313	386	448	368	415	290
FT フィナンシャルテクノロジー	413	453	440	451	468	462	547
MI メディアインキュベーション	627	566	683	1,174	1,292	691	1,103

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

リリース日		リリース内容
2017年5月12日	 Digital Garage	デジタルガレージ、富裕層向けライフスタイル支援事業を本格始動 投資先とその子会社2社を経営統合しDG Life Designとして事業展開へ
2017年4月28日		ベリトランス、オプティムとMRTが運営する遠隔診療サービス「遠隔診療ポケットドクター」にクレジットカード決済サービスを提供
2017年4月5日		Blockstream社、機密性を保ちながらブロックチェーン上でデジタル資産の取引を可能にするConfidential Assets機能を開発、オープンソースのデモプログラムをDG Labが提供（Blocksteam社のプレスリリース）
2017年4月5日	 	ベリトランスとイーコンテキスト、リクルートライフスタイル展開の『モバイル決済 for Airレジ』向けにビットコイン決済を提供
2017年4月3日		イーコンテキスト、クレジットカード情報の漏えいを防止するトークン決済の提供を開始
2017年3月23日		イーコンテキスト、仮想通貨取引所QUOINE EXCHANGEにecontext決済サービスの提供を開始
2017年3月11日		ベリトランスの全サービスは「Apache Struts2」の脆弱性問題の影響を受けません
2017年3月11日		イーコンテキストの全サービスは「Apache Struts2」の脆弱性問題の影響を受けません
2017年3月1日		ナビプラス、ウィゴ어의ファッションEC『GOCART ONLINE SHOP』に越境ECソリューション「BuySmartJapan」を提供開始
2017年2月28日		デジタルガレージ、電力小売供給基幹システム「Odin」を提供するパネルに出資
2017年2月20日		ベリトランス、業界初の決済システム完全一体型の不正検知サービスラインナップ、及びモジュール型トークン決済を提供開始
2017年2月9日		デジタルガレージ、オリコカードの会員優待ショッピングサイト「オリコモール」のスマートフォンアプリの提供を開始
2017年2月3日		デジタルガレージ、ブロックチェーン技術を手がけるBlockstream社と次世代プラットフォーム技術の共同開発について基本合意
2017年2月2日		「NaviPlusリタゲメール」にWeb接客機能を追加

リリース日		リリース内容
2017年2月1日	 NaviPlus	サイト離脱ユーザー向けメール配信ASP「NaviPlusリタゲメール」がECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」と連携
2017年1月31日	 veritrans	ベリトランス、オンラインでのクレジットカード情報の非通過化と不正利用防止対策を講じた総合決済ソリューション群を展開
2017年1月26日	 Digital Garage	デジタルガレージと講談社、女性誌のコンテンツとAI技術を組み合わせたデジタルメディアを共同開発
2017年1月25日	 Digital Garage	オンラインメディアでも話題のハイパーリアリティ作品が日本初上陸 イガル・オゼリ展「Erasing Photography」明日より開催
2017年1月19日	 Digital Garage	台湾最大の共通ポイントサービス「HAPPY GO」会員に向けて国内初となるポイント優待型越境ECモールの提供を開始
2017年1月12日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、香港のスタートアップスタジオMind Fundに出資
2017年1月6日	 DG LAB	DG Lab、ブロックチェーンのコアデベロッパー育成を目的としたワークショップ「Blockchain Core Camp」(BC ²)を開催
2016年12月12日	 NaviPlus	ナビプラス、サイト内検索エンジン「NaviPlusサーチ」に検索結果を戦略的にコントロールするマーケティング機能を実装開始
2016年12月07日	 Digital Garage	デジタルガレージ、トヨタ自動車と協業し、未来のモビリティ社会を創造するオープンイノベーションプログラム「TOYOTA NEXT」の運営を支援
2016年11月28日	 BI.GARAGE	BI.GarageのDMP「BIG MINING」がTwitterの「Targeting API」と連携開始
2016年10月27日	 veritrans	全日空商事とベリトランス、フィンテックを活用した法人向け決済ソリューション事業の合併会社「ANA Digital Gate株式会社」を設立
2016年10月19日	 Digital Garage	デジタルガレージとDG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2016 SAN FRANCISCO」を開催
2016年10月5日	 NaviPlus	ナビプラス、ストライプインターナショナルのファッションEC『KOE』に越境ECソリューション「BuySmartJapan」を提供開始
2016年10月4日	 econtext	イーコンテキスト、スーパーやドラッグストア等でのペーパーレス決済サービス「Biz@gent」を他社に先駆けて提供開始

リリース日		リリース内容
2016年10月3日	 econtext	イーコンテクト、カカクコム、郵便局物販サービスが共同運営する ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとぶらす」が本格稼働
2016年9月30日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ゲームアプリのリテンション施策を支援する セグメント別LINE配信サービス「CONNECT BAY for Game Apps」を提供
2016年9月20日	 veritrans	ベリトランスのApple Payへの対応開始について
2016年9月16日	 Digital Garage	DG Labと電通サイエンスジャム、脳波による感性分析とリアルタイム動画生成を組み合わせた VRコンテンツ「カレイドセラピー」を開発
2016年9月6日	 NaviPlus	ナビプラス、越境 EC ソリューション「BuySmartJapan」を千趣会が運営する『ベルメゾンネット』に提供開始
2016年8月26日	 Digital Garage	デジタルガレージ、インバウンド消費を促進する店頭デジタル施策を ココカラファインヘルスケアの免税実施全店舗へ拡大
2016年8月24日	 Digital Garage	デジタルガレージとTISが、FinTech関連事業の開発などに向けた 戦略技術開発会社「DG Technologies」を設立
2016年8月9日	 veritrans	ベリトランスのマルチ決済プラットフォームにおける「データセンター完全二重化」を日本オラクルとTISが支援へ
2016年8月8日	 Digital Garage	インバウンド消費の拡大を狙う自治体や企業を支援！ 訪日外国人に向けたオリジナル観光ガイドアプリの構築サービスの提供を開始
2016年8月4日	 NaviPlus	ナビプラスの「NaviPlusレコメンド」と ウェブ接客プラットフォーム「KARTE」が連携を開始
2016年7月25日	 econtext	業界初、バス予約・支払い・乗車がスマホアプリで完結 アイリッジとイーコンテクト、アプリ決済「BUS PAY」提供開始
2016年7月22日	 Digital Garage	デジタルガレージと大和証券グループ、次世代技術を有する スタートアップ企業に向けた「DG Labファンド」を組成
2016年7月19日	 econtext	イーコンテクト、BIGLOBEの新規契約者向けキャッシュバック キャンペーンに、送金サービス「CASH POST」を提供
2016年7月4日	 Digital Garage	デジタルガレージ、カカクコム、クレディセゾン、 オープンイノベーション型の研究開発組織「DG Lab」を設立



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。